

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果〔湧水町〕

湧水町教育委員会

I 令和 8 年度全国学力・学習状況調査の実施概要

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

○全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る

○学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査概要

◆ 調査日時：国語、算数・数学 令和 8 年 4 月 23 日（木）

英語 令和 8 年 4 月 20 日（月）～23 日（木）オンライン

◆ 調査事項：① 児童生徒：教科調査〔国語，算数（数学），英語〕，質問調査
② 学 校：質問調査

◆ 調査問題

・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。

・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。

◆ 今年度の調査の特徴

・ CBT 調査 ・ 生徒質問でのランダム方式の試行 ・ 英語オンライン

・ 多様な生徒の状況把握 ・ 結果公表の内容、スケジュールの改善

教科に関する調査結果概要

◆ 湧水町・鹿児島県・全国（国公私）の平均正答数・平均正答率

		小学校		中学校	
		国語	算数	国語	数学
令和 7 年度	湧水町	7.1/13 問 55%	98.3/16 問 52%	9.6/15 問 64.5%	8.1/16 問 51%
	県 (公立)	7.9/13 問 61%	8.8/16 問 55%	9.2/15 問 62%	8.3/16 問 52%
	全国 (公立)	7.9/13 問 61%	9.0/16 問 56.4%	9.6/15 問 63.9%	9.1/16 問 57%
令和	湧水町	8.8/14 問 63%	9.1/16 問 57%	7.6/14 問 54%	5.6/15 問 37%

	県 (公立)	9.3/14 問 67%	9.2/16 問 57%	7.5/14 問 53%	6.7/15 問 45%
	全国 (公立)	9.4/14 問 66.8%	9.3/16 問 58.0%	7.6/14 問 54.1%	7.2/15 問 48.3%

Ⅱ 教科に関する調査結果〔 小学校国語科 〕

問題作成のポイント

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視して出題している。今年度は、

- 「話すこと・聞くこと」について、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題を出題した。
- 令和7年度までの調査で課題が見られた内容（「読むこと」文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること）について状況を確認するため、問題（大問3三）を出題した。

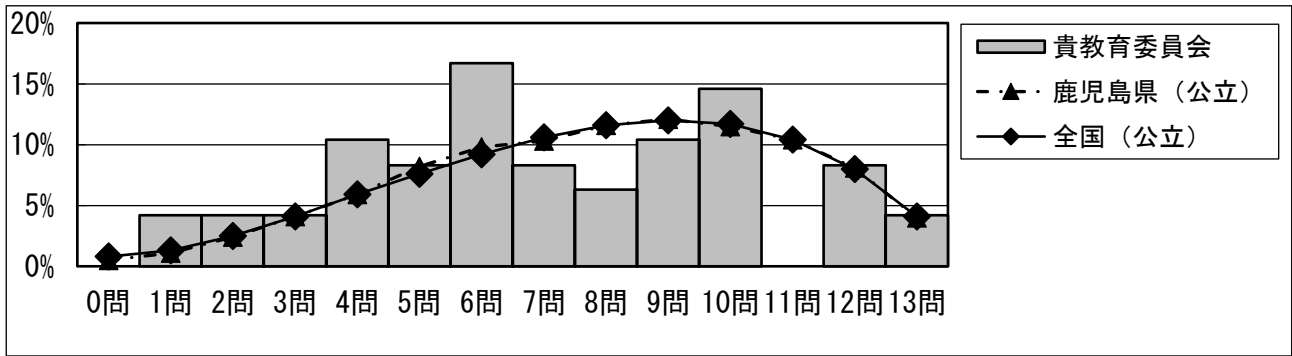
結果のポイント（全国）

- 【pp.5－6】自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることはできている。
- 【pp.7－9】目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題がある。文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要である。必要な情報は、目的に応じて変わるため、読む目的を明確にすることも大切である。

〈分類・区分別集計結果〉

分類		区分	令和8年度			令和7年度		
			平均正答率(%)			平均正答率(%)		
			湧水町	県 (公立)	全国 (公立)	湧水町	県 (公立)	全国 (公立)
全 体			55	61	60.9	63	67.0	66.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	57.8	68.0	66.8	76.9	67.2	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	57.3	52.8	52.3	63.1	86.2	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項				81.2	74.5	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	52.1	64.4	65.8	66.3	58.7	59.8
		B 書くこと	44.8	46.0	45.7	69.5	69.5	68.4
		C 読むこと	59.4	65.7	65.9	57.5	72.3	70.7
評価の観点	知識・技能		57.6	62.9	62.0	74.3	74.5	71.6
	思考・判断・表現		52.1	59.5	60.1	63.5	63.8	66.5
問題形式	選択式		53.9	60.9	61.9	63.1	64.7	69.9
	短答式		55.2	64.8	62.6	79.2	78.5	59.7
	記述式		57.3	58.3	54.9	63.2	58.8	64.6

〈小学校国語の児童の正答数分布グラフ〉



II 教科に関する調査結果〔 中学校国語科 〕

問題作成のポイント

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを出题している。今年度は、

- 過年度の調査結果に見られた課題等を踏まえ、話や文章の構成や展開について考えたり、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたりすることができるかどうかを問う問題を出題した。

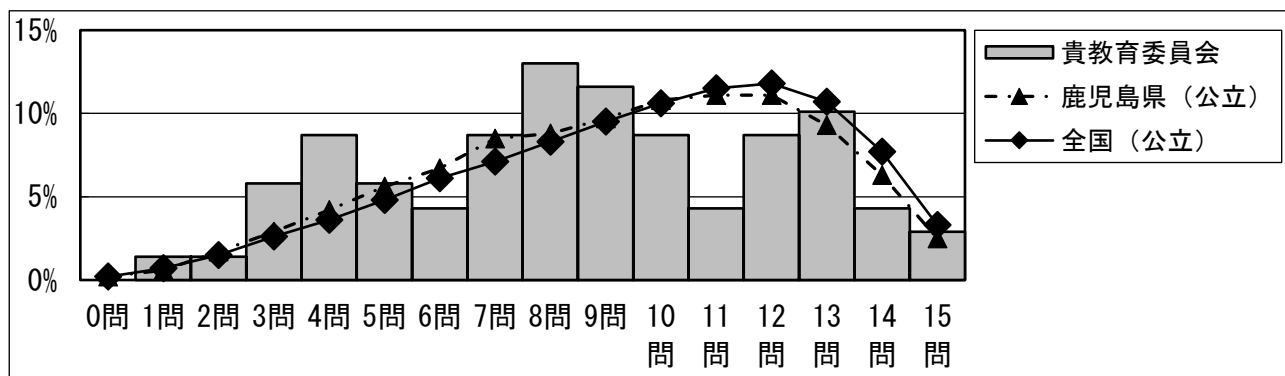
結果のポイント（全国）

- 【p.11】文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることはできている。
- 【p.12】自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。
- 【p.13】読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

分類			令和 8 年度			令和 7 年度		
			平均正答率(%)			平均正答率 (%)		
			湧水町	県 (公立)	全国 (公立)	湧水町	県 (公立)	全国 (公立)
全 体			64	62	63.9	54	53	54.3
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	58.3	60.6	63.0	48.1	68.7	71.2
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	59.4	67.0	70.4		62.7	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項						
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	54.1	60.8	63.9	53.2	73.5	72.6
		B 書くこと	63.8	66.3	67.4	52.8	29.1	26.7
		C 読むこと	50.7	57.9	59.7	62.3	72.3	71.2
評価の観点	知識・技能		58.5	61.6	64.2	44.3	48.1	68.9
	思考・判断・表現		56.2	61.7	63.7	54.9	55.3	65.5
問題形式	選択式		65.5	70.1	72.7	61.8	63.9	73.6
	短答式		49.8	54.3	55.8	76.1	73.6	62.7
	記述式		39.1	43.6	45.5	25.1	25.3	45.5

〈中学校国語の生徒の正答数分布グラフ〉



II 教科に関する調査結果〔 小学校算数科 〕

問題作成のポイント

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決し、解決過程を振り返って概念を形成したり体系化したりする過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。今年度は、

- 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数や分数の計算の仕方について統合的・発展的に考察できるかを問う問題を出題した。
- 日常生活の問題を解決するために、伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係について考察できるかを問う問題を出題した。
- 日常の事象について、目的に応じて表やグラフからデータの特徴や傾向を捉え考察できるかを問う問題を出題した。

結果のポイント（全国）

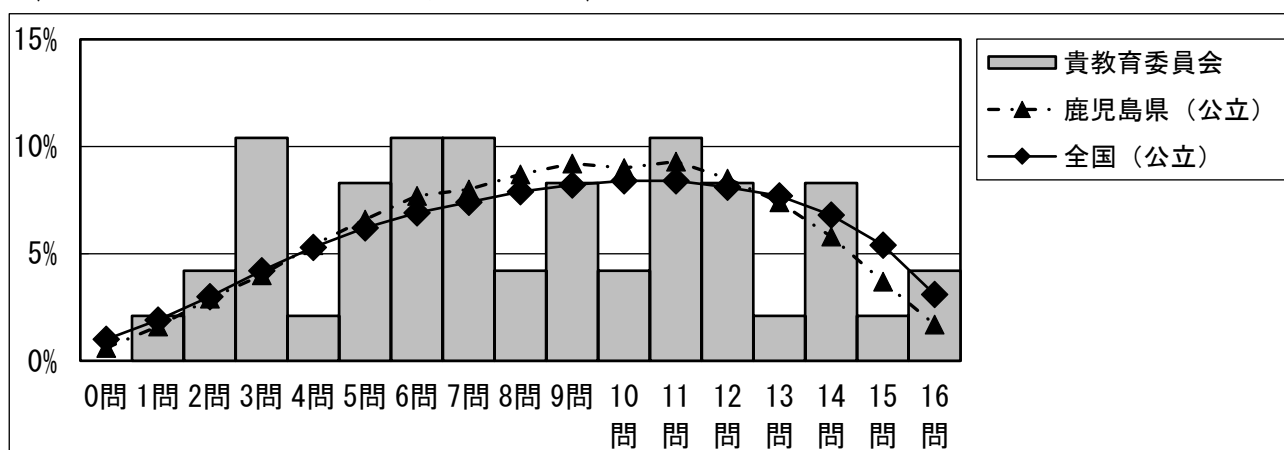
- 【p.15】異分母の分数の加法の計算をすることはできているが、数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。
- 【pp.16-17】伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことはできているが、百分率を用いる場面において、倍を使って捉え直し表現することに課題がある。
- 【pp.18-20】棒グラフから項目間の関係を読み取ることはできているが、目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	令和 8 年度			令和 7 年度		
		平均正答率(%)			平均正答率 (%)		
		湧水町	県	全国	湧水町	県	全国
全体		52	55	56.4	57.0	57.0	58.0
学習指導要領 の領域	A 数と計算	56.3	59.1	61.1	59.8	60.9	62.3
	B 図形	49.0	54.7	55.3	60.9	58.4	56.2
	C 測定	75.0	77.2	78.1	47.8	52.9	54.8
	C 変化と関係	40.3	38.4	41.1	57.2	54.5	57.5

	D データの活用	42.7	46.7	48.6	57.0	61.6	62.6
評価の観点	知識・技能	55.2	58.6	60.1	65.9	65.5	65.5
	思考・判断・表現	42.7	44.7	45.4	45.7	47.1	48.3
問題形式	選択式	54.6	54.7	56.0	70.7	66.9	67.2
	短答式	54.2	58.3	59.7	64.1	63.3	64.0
	記述式	42.4	47.1	48.5	26.1	34.6	34.9

〈小学校算数の児童の正答数分布グラフ〉



Ⅱ 教科に関する調査結果〔 中学校数学科 〕

問題作成のポイント

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決し、解決過程を振り返って概念を形成したり体系化したりする過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。今年度は、今後の学習において活用される基礎的・基本的な知識及び技能や、その知識及び技能が、生徒が問題解決をしていく過程でどのように用いられているかについて明確にして問題を出題した。

- 生徒が目的意識をもって数学的に問題発見・解決する過程を遂行することに配慮し、問題を出題した。
- 学習指導要領第2章第3節数学における、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題した。

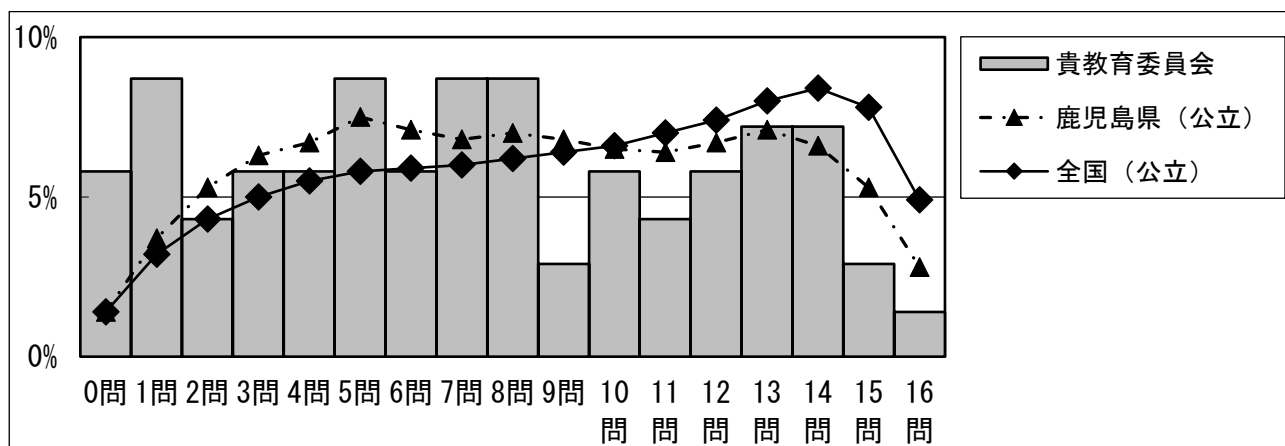
結果のポイント（全国）

- 【pp.22-23】 必ず起こる事柄の確率について理解できているが、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することについては課題がある。
- 【p.24】 数学の用語の意味の理解に課題がある。
- 【pp.25-27】 統一的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することに課題がある。また、証明したことを基に、新たに見いだした事柄を証明することにも課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	令和 8 年度			令和 7 年度		
		平均正答率(%)			平均正答率 (％)		
		湧水町	県	全国	湧水町	県	全国
全体		51	52	57	37	45	48.3
学習指導要領 の領域	A 数と式	59.4	65.5	67.8	28.8	40	43.5
	B 図形	34.4	39.4	48.7	41.2	40.6	46.5
	C 関数	44.0	50.3	54.8	39.2	45.4	48.2
	D データの活用	40.9	48.1	53.5	45	58.3	58.6
評価の観点	知識・技能	51.4	58.1	63.0	43.5	52.1	54.4
	思考・判断・表現	28.3	32.9	39.1	28.4	34.1	39.1
問題形式	選択式	52.2	55.2	59.3			
	短答式	51.2	59.0	64.2	47.4	53.4	54
	記述式	28.3	32.9	39.1	38.8	48.2	52

〈中学校算数の児童の正答数分布グラフ〉



Ⅲ 質問紙調査結果（児童生徒、学校） ※ 最も肯定的な回答の割合

① 主体的・対話的で深い学びの視点から

校種	番号	質 問 事 項	町	県	全国
小	22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。 【自己調整力】	25.5	27.6	28.7
中			35.7	26.1	27.4
小	38	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。 【主体的な学び】	25.5	22.2	25.8
中			21.4	16.8	22.6
小	39	授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいましたか。 【主体的な学び】	23.4	25.9	28.3
中			30.0	24.1	27.0

小	42	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。 【対話的な学び】	48.9	43.3	43.5
中			54.3	37.9	39.6
小	40	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。 【深い学び】	27.7	26.1	26.9
中			21.4	19.7	23.1

② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から

校種	番号	質 問 事 項	町	県	全国
小	41	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。 【個別最適な学び】	40.4	37.0	34.9
中			40.0	23.8	25.3
小	16	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 【協働的な学び】	34.0	32.3	31.9
中			37.1	32.3	32.0

③ 「学びに向かう力、人間性等」の視点から

校種	番号	質 問 事 項	町	県	全国
小	8	自分には、よいところがあると思いますか。 【自己肯定感】	23.4	36.5	43.6
中			47.1	36.1	41.0
小	9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 【自己肯定感】	66.0	48.7	53.4
中			71.4	42.0	46.7
小	43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。 【省察力（振り返り）】	34.0	32.7	31.4
中			35.7	29.2	29.3
小	44	授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか。 【自己調整力】	36.2	35.1	35.0
中			40.0	28.1	28.3

④ 「魅力ある学校づくり」の視点から

校種	番号	質 問 事 項	町	県	全国
小	15	学校に行くのは楽しいと思いますか。	61.7	50.6	48.0
中			55.7	48.5	45.2
小	17	友達関係に満足していますか。	59.6	62.8	62.7
中			60.0	57.9	56.5

小	21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	55.3	53.0	54.7
中			57.1	43.9	46.1
小	54	国語の授業の内容はよく分かりますか。	23.4	33.5	36.1
中			40.0	24.0	27.1
小	62	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。	42.6	41.5	41.9
中			27.1	32.0	34.6